



# つねとみ

※「つねとみ」カラー版は恒富小ホームページでご覧いただけます。

## 感動の運動会でした

10月1日(日)の運動会には、多くの保護者や地域の皆様にお出でいただき、本当にありがとうございました。子どもたちの走りや演技はいかがだったでしょうか。どの学年も一生懸命頑張ったなあと思います。

閉会式が終わった後、子どもたちは赤白各団で解団式というのがあります。それぞれ分かれて、これまで一ヶ月以上団長や副団長、リーダーと共に練習を頑張ってきたわけですから、その感謝とねぎらいと熱い思いを分かち合う場です。毎年そうなんです。今年の解団式も感動の涙・涙・涙でした。それもそうだと思います。毎日暑中、昼休みや早朝、放課後を使ってずっと団の勝利のために準備をし、練習を重ねてきたわけですから熱いものがこみ上げてくるのは当然のことかなとも思います。見ている職員や保護者までもらい泣きしてしまいます。勝負ですから、どちらかが勝ち、どちらかが負けるのは仕方ないことですが、子どもたちにとって、こういう経験は大変貴重な財産になると思います。

また、保護者の皆さんには本当に感謝しています。前日準備もたくさんの方に参加していただき、例年以上に早く終了しましたし、運動会終了後の片付けも、まだ児童が解団式をやっている間にも多くの保護者の皆さんが手際よく片付けを手伝っていただきました。PTA役員や事業部の皆さんも何度も打合せや早朝からの準備等をしていただきました。ありがとうございました。そして本校の職員もこれまで根気強く子どもたちへの指導をし、自分の担当の責任をしっかりと果たしていました。校長の私が言うのも何ですが、恒富小の子どもたちや保護者、地域の皆様、そして職員はすばらしいです。もちろん、次年度に向けての反省点もいくつかあります。またそれを来年は改善し、さらによい運動会をめざし、恒富小のすばらしい運動会の伝統を守っていきましょう。ありがとうございました。



【入場行進】



【1・2年ダンス】



【3・4年表現】



【5・6年表現】



【5年団技】



【PTA団技】

## 「むごい教育」

これから紹介する話は、私がこの学校に赴任してきた一昨年度のPTA総会の時の校長あいさつの中でお話させていただいたものです。その時出席できなかった方もいらっしゃるし、その頃と保護者のメンバーもだいぶ変わりましたので、もう一度紹介させていただきます。

徳川家康と言えば江戸幕府を開いた有名な武将ですが、この家康に関して「むごい教育」という有名な話があります。ご存知の方もいらっしゃると思いますが、今の保護者の皆様にも参考になるかなと思いますので紹介します。

戦国時代、徳川家康は幼少の頃、今川義元の人質として駿河のお寺に預けられました。義元は家来たちに「家康に対し、一番むごい教育をせよ。」と命じたそうです。家来たちが「むごい教育」とはどういうものかと尋ねますと、義元は「朝から晩まで、海の幸や山の幸あふれる贅沢なご馳走を好きなだけ与えてやりなさい。寝たいと言ったら、いつまでもいくらでも寝かせてやりなさい。夏は暑くないように、冬は寒くないようにしてやりなさい。学問が嫌だと言うならやらせなくてもよい。何事も家康が好きなようにさせなさい。」と言ったそうです。家来たちは、なぜそれが「むごい教育」なのか、よいことばかりではないかと思いに思いに、義元に尋ねたそうです。すると義元は家来たちにこう答えました。「そのようにすれば、たいいていの人間は必ずだめになる。」



いかがでしょうか。これは今川義元の「むごい教育」という有名な話です。本当に自分の子どもというのはかわいいものです。「子どものためなら・・・」という方がほとんどだと思います。私も同じで、親として子どもにしてやれることはやってあげたいと思います。しかし、大事なことは、「本当にそれが子どものためになっているか。」ということだと思います。雨が降るとかわいそう。遅刻するとかわいそう。宿題を忘れるとかわいそう。ゲームがないのはかわいそう・・・私自身も親として、子どもが成人している今でも悩みます。「むごい教育」皆様、どう思われますか。

## 表彰おめでとう

- 2017全日本青少年空手道選手権大会  
8歳女子の部  
準優勝 3年 石田 涼奈さん
- 第24回リバーフェスタのベおかスローガン  
佳作 3年 児玉 夢羽さん  
3年 田口 陽菜さん  
3年 横山 愛花さん  
4年 中田 昂汰さん
- 東延岡地区青少年健全育成連絡協議会標語  
6年 尾崎 美桜さん  
「延岡の未来を支える私達」  
6年 山崎 琴美さん  
「おはようで 町も家族も 笑顔になれる」
- 第38回ひと・まち・ものを大切にする  
市民のつどい標語  
2年 猿渡 愛恵さん  
「だいじょうぶ」そのひとことがうれしいね